

事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3016回 例会2024.1.25 No.1676



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

ソング それでこそロータリー

会長談話 山田 益会長

私は2012年12月、ルビコン(株)代表取締役会長：登内英夫氏より著書「卒寿を超えて、いま、思うこと」を頂きました。

英夫氏は1917年10月に誕生されました。1930年上伊那農業高校では国語・古文などより数学や化学が好きで、特に化学は飯(めし)より好きな学科でした。上農高校が大好きで、本人曰く「考え方の根本は上農高校時代に育まれたと思っています」と話されています。卒業後は、東信にある「日本電機工業(株)：小海工場」へ勤務することに決めましたが、4か月ほど間が空き、悶々とした日々のうちに、更なる人生の大きな岐路を迎えることになったのです。「人生を決めた恩師との出会い」がありました。決定的なものは、伊那市手良出身の「向山幹夫」工学博士との出会いでした。向山博士は日本の誇る電気製鉄の第一人者で、「日本電機工業(株)」や「(株)重金属研究所」を興されました。「人は人との出会いで、人生が大きく変わるもの」を知りました。そして英夫氏は化学工業の道へ進むことになり、必死に勉強し「化学は決して人を裏切らない事」を知りました。

当時の給料は一日60銭、30日働いて月給18円という薄給でした。そして「飛躍のための決意」をして1937年1月足掛け3年になる小海町を出て東京へ移りました。これは日本電機工業(株)が台湾に「電気製鉄所」を新設するための準備をすることでした。この時の上司は九州大学卒の原本俊雄氏で機械や資材の購入方法を学びました。時々向山博士が来たり、東京工大のフェライトの発明者の武井武教授(後のTDK設立の1人)も来ていました。東京では夜学へ行きたかったのですがダメだったので、専ら独学で猛勉強、神田の古本屋で化学や英語の本を買い勉強しました。古本屋の親父と仲良くなりました。時々荻窪の向山博士の自宅へ行き書生をやったりしました。その後1938年1月台湾への辞令が出てこの時から9年間の台湾生活が始まりました。勤務先は半官半民の「台湾電力(株)：松山製鉄試験工場」で、製品の仕事は小海工場です。3年間やっていて習得した技



術や知識が有ったので、充分やり遂げられて台湾の若い社員の指導も出来ました。しかし会社の主要な部門を担っていた日本人幹部、技術者、研究者は皆有名大学出で、農業学校卒の登内英夫氏は辛酸をなめさせられました。そこでまた勉強したいと思い日本に帰りたいたいと思いましたが、向山博士に留められそして台湾の大学：台北帝国大学へ入るように勧められたので、第一希望の「理農学部」はダメでしたが、「農林専門部：農芸化学」の選科生となり大学生となりました。台湾電力(株)への勤務は続いていたので給料も出て大変助かりました。学んだことは「叩けよ、さらば開かん」でした。台北帝国大学では、無機化学講座は、佐伯教授がいて登内英夫氏の勉強ぶりをクラスメートの前で「登内君を見習え」と皆に話しました。

この後の事ですが、登内英夫氏は終戦を台湾で迎えて、一年後の1946年5月に伊那の地に戻りました。そしてすでに伊那で電子部品の会社をスタートされていた「KOA(株)」の向山一人創業者と会い、暫く協力することとなりました。そして「ルビコン(株)」のスタートについては、次回にお話します。

幹事報告 別紙をご覧ください

出席報告 会員数57名 内出席免除者19名
出席者26名 事前ミーティング0名 出席率59.09%

ニコニコボックス

- ・山田 益 会長談話、毎回苦勞しています。
- ・塚越 寛 大宮支店を開設しました。
- ・竹腰哲夫 母の葬儀に過分なお香典をいただきありがとうございました。
- ・小林句子 商工会議所女性会で、新春ふれあい祭りを行いました。大勢ご来場いただきました。

下期事業計画発表

クラブ管理運営委員会 鈴木正比古副委員長

1. 方針
下期も会員の皆様が積極的に例会に出席していただき、引き続き出席率の向上に努める。奉仕活動向上のためニコニコボックスへのご協力を促し、年度目標達成に向けて継続してお願い



をする。

委員同士協力し合い、受付とニコニコボックスの発表がスムーズに行えるような委員会運営に努めると同時に、ニコニコボックスとラッキー賞の適正な管理を行う。

2. 計画

1. 会員の皆様に、出席率向上のため出欠席連絡の徹底と、直前にどうしても出席できなくなった場合の事務局への連絡にご協力いただき無断欠席を無くす。

2. ニコニコボックスの年間目標達成に対し、約半分という推移できていますので、下期もこのペースで進むようにご協力のお願いを継続していく。

3. 気軽にニコニコボックスへの入金ができるような雰囲気づくり、お声がけを積極的に行っていく。

4. 例会欠席会員への取り組みが疎かになっていますので、引き続きその体制作りを検討する。

クラブ会報委員会 本田敏和委員長

① クラブの例会、イベントの活動を取材し、記録として保存する。

② 毎週2人の担当者(主・副)を定める。

③ 会報は原則として次週例会までに発行する。

④ 会報はメールで配信するか、例会時に配布する。

⑤ マスメディア・SNSを活用し、ロータリー活動等の情報を広報する。

⑥ ガバナー月信、ロータリーの友への投稿を推進する。

会員増強委員会 増田 清委員長

女性の勧誘を進めて行く。

上期活動結果

入会者1名。2名は来年4月より入会予定。

目標2名に対して、3名の入会者、予定者がありましたので、大きくクリアできました。

ご協力大変ありがとうございました。

上期目標の女性の勧誘が未達ですので、何としても達成したいと思います。仲間、知人、周りに適任と思われる人がいましたら、ご紹介または勧誘をして頂ければ非常にうれしく思います。よろしくお願い致します。

親睦活動委員会 唐澤幸利幹事代読

1. 上期実績

納涼例会及び年末家族会を、新型コロナの感染状況等を勘案しながら、無事開催することができました。

2. 下期事業計画

観桜会を計画どおり開催いたします。なお、納涼例会及び年末家族会は、感染症を考慮し一部実施できなかったア



トラクションがありますので、「お互いをよく知る」ために、プログラムを充実させたいと思います。

情報・プログラム委員会 小河節郎委員長

年間事業計画のうち、未実施の計画を中心に実施する。

1. 卓話は後期に1回実施する。会員による卓話を通じ会員と、その仕事を理解する。

2. IGMは前期1回実施したが、後期にもう1回開催する

3. 前期に3人の新入会員があったが、後期も新会員があるものとして、入会事前説明会を実施する。

4. 新入会員とその夫人同伴懇談会を開催し、ロータリーの理解と協力、親睦を図る。

国際奉仕・財団委員会 唐木 章副委員長

① クラブフォーラムを担当し、国際奉仕・財団・米山への理解を深める。

② 財団年次基金への寄付

③ ポリオプラス基金への寄付

④ ロータリー平和センターへの寄付

⑤ 恒久基金への寄付

⑥ 関連する地区セミナーへの参加
財団寄付6名、米山記念奨学会5名、計11名の皆様にご寄付して頂きました。

職業・社会奉仕委員会 飯島松一委員長

① 毎月第一例会にて「四つのテスト」の唱和を行う

② 伊那弥生ヶ丘高校キャリア教育授業への協力を行う令和6年2月8日(木)いなっせにて実施予定

③ ボーイスカウト野営場「希望の森」での植林と伐採整備を行う令和6年5月19日(日) 予定

④ クラブフォーラム(職業奉仕月間)を担当する

青少年奉仕委員会 八木沢真委員長

1. 方針

将来を担う青少年の健全育成を目的とし、自己の人間的、職業的、社会的成長を支援する

2. 計画

① クラブフォーラムを担当し、クラブ内で地域の青少年育成の大切さを共有する

② 国内一流コーチを招聘し、上伊那小中学生卓球合同練習会を開催する。2027年長野国体に向けた上伊那卓球のレベルアップを目指し、同時にコーチから考え方や姿勢を学ぶことで子供たちの人間的成長につなげる

